



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 田淵電機株式会社

コード番号 6624 URL <http://www.zbr.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 貝方士 利浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部統括

(氏名) 佐々野 雅雄

TEL 06-4807-3500

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	14,234	△8.1	336	—	157	—	20	—
23年3月期第2四半期	15,482	7.7	29	△76.2	△272	—	△370	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △192百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △629百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	0.53	—
23年3月期第2四半期	△10.53	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,464	1,368	9.6
23年3月期	13,515	749	4.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,291百万円 23年3月期 654百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	30,000	△8.9	800	21.4	500	135.5	300	—	7.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	40,502,649 株	23年3月期	35,302,649 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	67,315 株	23年3月期	66,715 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	38,134,029 株	23年3月期2Q	35,237,466 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
4. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報等.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の停滞を脱して、後半は回復の途上にありましたものの、円高の長期化や原油価格の高止まり、株価下落などにより、依然として厳しい状況で推移しました。

また、世界経済においても、欧州財政問題の深刻化や米国経済の停滞、新興国の成長鈍化などにより、世界景気の減速懸念が強まっております。

このような経営環境の下、当社グループでは、中期経営計画「MBP15」の初年度として、ますます注目される環境・エネルギー分野へ重点シフトを図り、パワーコンディショナを中心としたパワーエレクトロニクス事業の強化拡大に取り組んでいます。これにより、産業向け太陽光発電用パワーコンディショナやLED照明用電源など、当社独自技術による高付加価値商品を創出すると共に、パワーコンディショナの海外への生産移管を進めるなどコスト力の強化を図りました。また、生産性向上や原価低減活動など、全社を挙げて収益力向上に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、パワーコンディショナの大幅な伸長があったものの、エコポイント制度の終了による薄型テレビ用電源の大幅な減少などにより、売上高は14,234百万円（前年同四半期比8.1%減）となりました。損益につきましては、第1四半期連結会計期間は東日本大震災の間接的影響があったものの、第2四半期連結会計期間は回復し、営業利益は336百万円（前年同四半期は営業利益29百万円）、経常利益は157百万円（前年同四半期は経常損失272百万円）、四半期純利益は20百万円（前年同四半期は四半期純損失370百万円）となりました。

セグメントごとの売上高は次のとおりであります。

## ①変成器事業

変成器事業は、引き続きエアコン用リアクタ等が順調に推移したため、売上高は4,883百万円（前年同四半期比7.8%増）となりました。

## ②電源機器事業

電源機器事業は、パワーコンディショナの大幅な伸長があったものの、エコポイント制度の終了と地デジ移行による薄型テレビ用電源の大幅な落ち込み、及び市場低迷の影響を受けたオーディオ用電源の更なる落ち込みにより、売上高は9,351百万円（前年同四半期比14.6%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は13,464百万円となり、前連結会計期間末に比べて50百万円減少いたしました。これは、主として、受取手形及び売掛金が607百万円減少し、現金及び預金が307百万円、たな卸資産が122百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債は12,095百万円となり、前連結会計期間末に比べて670百万円減少いたしました。これは主として、有利子負債が921百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は1,368百万円となり、前連結会計期間末に比べて619百万円増加いたしました。これは主として、第三者割当増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ416百万円増加し、為替換算調整勘定が141百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表しました平成24年3月期の通期連結業績予想は、本資料及び本日広報の「業績予想と実績との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」において修正しております。詳細につきましては、「業績予想と実績との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## ・連結業績予想（通期）

売上高	30,000百万円	（前年同期比	91.1%）
営業利益	800百万円	（前年同期比	121.4%）
経常利益	500百万円	（前年同期比	235.5%）
当期純利益	300百万円	（前年同期比	—）

下期の為替レートは1ドル78円を前提としております。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、平成21年3月期におきまして重要な当期純損失を計上いたしました。前連結会計年度には、営業利益、経常利益、当期純利益とも黒字となりましたが、円高及び株価の下落により純資産は減少いたしました。当第2四半期連結累計期間におきましては、震災の影響はあったものの、営業利益、経常利益、四半期純利益とも黒字となりました。

引き続き厳しい経営環境が見込まれる中、当社グループでは、当該重要事象を解消するため、中期経営計画に基づき、電源機器事業については医療器・産業機器向け等、より高付加価値が見込める分野へリソースをシフトしております。加えて、十数年にわたる住宅向け太陽光発電用パワーコンディショナの国内トップメーカーとしての基盤を生かし、昨今注目を集めているクリーンエネルギーを中心としたエネルギーマネジメントシステム関連分野へ注力してまいります。

具体的には、太陽光発電・風力発電・燃料電池等の各種エネルギー源に対応したハイブリッド・パワーコンディショナや学校・工場等の中規模施設向け中容量タイプの発売を開始いたしました。また、震災後需要が拡大している太陽光発電と蓄電池との「自立型蓄電機能付きパワコン」やアルミニウムリッツ線の接合技術による「ワイヤレス給電システム」等、当社独自技術を駆使した高付加価値商品群の開発に社内資源を集中させ、積極的な市場展開を図っております。

そのために、コスト競争力強化を図るための海外生産展開や生産能力増強に向けた設備投資、及び、研究開発投資などにより事業基盤を強化し、着実に収益体質の改善につなげてまいります。これら設備投資や研究開発投資に充当するため、当第1四半期には、第三者割当による増資を行うなど、収益基盤の強化とともに、財務体質の改善も進めております。

これらの施策を着実に実行することで、当該重要事象を解消できるものと考えております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,350	1,657
受取手形及び売掛金	4,315	3,708
商品及び製品	1,043	1,060
仕掛品	397	518
原材料及び貯蔵品	2,141	2,125
繰延税金資産	10	14
その他	361	437
貸倒引当金	1	0
流動資産合計	9,619	9,522
固定資産		
有形固定資産	2,221	2,275
無形固定資産		
のれん	6	-
その他	122	146
無形固定資産合計	128	146
投資その他の資産		
投資有価証券	1,219	1,195
その他	317	309
貸倒引当金	1	1
投資その他の資産合計	1,535	1,503
固定資産合計	3,885	3,926
繰延資産	10	15
資産合計	13,515	13,464

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,804	5,844
短期借入金	1,879	1,139
1年内返済予定の長期借入金	880	888
1年内償還予定の社債	260	260
リース債務	192	178
未払法人税等	43	61
賞与引当金	102	189
その他	546	630
流動負債合計	9,709	9,191
固定負債		
社債	540	410
長期借入金	1,442	1,422
リース債務	317	292
退職給付引当金	558	590
その他	197	189
固定負債合計	3,056	2,904
負債合計	12,765	12,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,195	3,611
資本剰余金	-	416
利益剰余金	1,255	1,235
自己株式	12	12
株主資本合計	1,928	2,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	273	330
繰延ヘッジ損益	15	32
為替換算調整勘定	983	1,125
その他の包括利益累計額合計	1,273	1,488
少数株主持分	94	77
純資産合計	749	1,368
負債純資産合計	13,515	13,464

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	15,482	14,234
売上原価	14,156	12,798
売上総利益	1,325	1,436
販売費及び一般管理費	1,296	1,099
営業利益	29	336
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	5	4
持分法による投資利益	8	10
デリバティブ利益	-	40
その他	8	11
営業外収益合計	23	68
営業外費用		
支払利息	75	85
為替差損	186	105
デリバティブ損失	5	-
その他	58	56
営業外費用合計	325	247
経常利益又は経常損失( )	272	157
特別損失		
固定資産除売却損	9	1
投資有価証券評価損	-	22
退職給付制度移行損失	-	18
特別損失合計	9	42
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	281	114
法人税、住民税及び事業税	68	96
法人税等調整額	9	14
法人税等合計	77	81
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	359	32
少数株主利益	11	12
四半期純利益又は四半期純損失( )	370	20



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	359	32
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	167	56
繰延ヘッジ損益	-	17
為替換算調整勘定	49	87
持分法適用会社に対する持分相当額	52	63
その他の包括利益合計	270	225
四半期包括利益	629	192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	637	195
少数株主に係る四半期包括利益	8	2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△281	114
減価償却費	267	223
のれん償却額	6	6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7	38
受取利息及び受取配当金	△6	△6
支払利息	75	85
投資有価証券評価損益(△は益)	—	22
持分法による投資損益(△は益)	△8	△10
有形固定資産除売却損益(△は益)	9	1
売上債権の増減額(△は増加)	△224	456
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,138	△315
仕入債務の増減額(△は減少)	△38	226
その他	71	232
小計	△1,276	1,074
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	△75	△85
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△142	△74
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,487	920
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△189	△355
有形固定資産の売却による収入	0	2
投資有価証券の取得による支出	—	△109
その他	△6	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△195	△476
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,201	△662
長期借入れによる収入	600	557
長期借入金の返済による支出	△457	△565
社債の償還による支出	△130	△130
株式の発行による収入	—	822
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△88	△94
少数株主への配当金の支払額	△47	△19
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,077	△92
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	△44
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△636	307
現金及び現金同等物の期首残高	1,852	1,350
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,215	1,657

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	変成器事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,530	10,952	15,482	—	15,482
セグメント間の内部売上高 又は振替高	855	—	855	△855	—
計	5,385	10,952	16,338	△855	15,482
セグメント利益又は損失(△)	72	△34	37	△8	29

(注) 1. セグメント利益の調整額△8百万円には、のれん償却額△6百万円等が含まれております。  
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	変成器事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,883	9,351	14,234	—	14,234
セグメント間の内部売上高 又は振替高	778	—	778	△778	—
計	5,661	9,351	15,013	△778	14,234
セグメント利益	281	60	341	△5	336

(注) 1. セグメント利益の調整額△5百万円には、のれん償却額△6百万円等が含まれております。  
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月21日付で、TDK株式会社、株式会社銭高組、株式会社みずほ銀行、大阪瓦斯株式会社及びミヨシ電子株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が416百万円、資本準備金が416百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が3,611百万円、資本剰余金が416百万円となっております。